

平成30年度消防団員特別教育最高幹部教育に参加しました

平成30年度消防団員特別教育最高幹部教育が、2月4日（月）滋賀県消防学校大教室において開催されました。

この特別教育は、最高幹部として必要な見識と社会情勢の変化に対応する管理能力を養成する事を目的として、県内消防団の団長および副団長を対象とし、毎年実施されています。

今年度は、参加人員約70名の参加のもと、約3時間にわたり講義がありました。

最初に、岩田純二滋賀県消防学校校長より開講のあいさつがあり、続いて、松野克樹滋賀県防災危機管理監より「近年の災害の概要と今後の対策」と題して講話が約40分ありました。

その後、本年の第26回全国消防操法大会にて、県内では初めての全国大会初優勝をおさめられた、日野町消防団第3分団清水雅司分団長と東武司班長の講演がありました。

「第26回全国消防操法訓練大会を振り返って」と題し、優勝までの道のりやそこに至るまでの努力や苦悩、仕事との両立や家族の理解などを話されました。

「いつも通り」とシンプルな合言葉ですが、その裏では、過去の全国大会出場チームの操法を研究されたり忙しい合間を縫っての練習や体力作りなど並々ならぬ努力があったことと思います。

本当にお疲れさまでした。

次に、「女性消防団員の活躍～第26回全国消防操法大会」と題して、本年の全国操法訓練大会で、女性でありながら男性と同等の練習を積み大会に出場され小型ポンプの部で優良賞に輝かれた、山口市消防団小郡方面隊小郡分団江道優子班長、進藤恵美子班長をはじめ、同団本部石丸栄喜団長、山口市消防本部警防課徳永和俊氏にご講演いただきました。

山口市では各分団合わせ53名の女性団員が在籍され、基本的には男性団員と同等に活躍されており、他に団本部予防隊に16名、団本部学生消防団に18名の女性が在籍し、そちらは女性消防団員のみで組織され、災害対応は行わないとされています。

今回講演された山口市消防団小郡方面隊では、各分団併せ女性は5名、女性が初入団されてから21年が経過するが当時から男女の区別なく活動されていた。

女性としての分団活動では、日頃から人一倍努力され、また男女の区別がない事で活動がしやすい為、他の地域でも性差で区別をする必要はないのでは、女性には無理だろう、教えても出来ないだろうという先入観は必要ないと考えられています。

仕事と家庭を持ち活動することの難しさもあるが、男性同様の教育訓練を受け、実際に活動することは、キャリアを積む機会にも恵まれ、女性ならではの良さを活かす活動の創出、延いては女性団員数の増加につながるとはなされました。

とても素敵なお二人で、受講している皆様は活気あるお話に聞き入っていました。素晴らしいご講演を有難うございました。

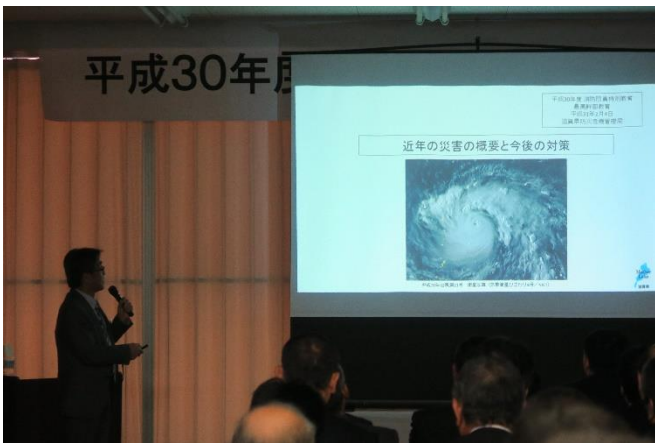
また、参加された皆様も大変お疲れ様でした。



岩田純二滋賀県消防学校長あいさつ



松野克樹滋賀県防災危機管理監



「近年の災害の概要と今後の対策」(講話)



日野町消防団第3分団清水雅司分団長



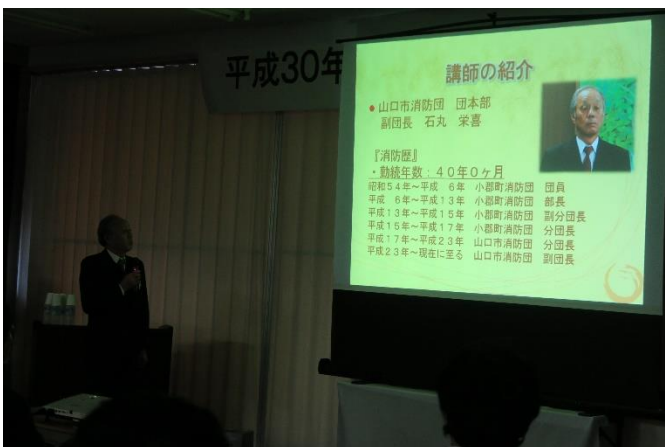
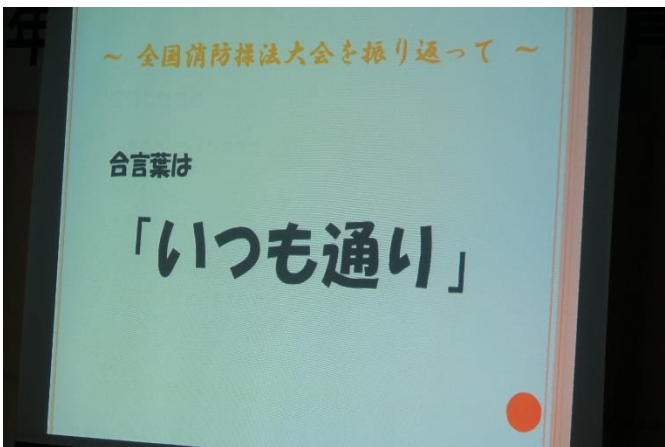
「第26回全国消防操法訓練大会を振り返って」(講演)



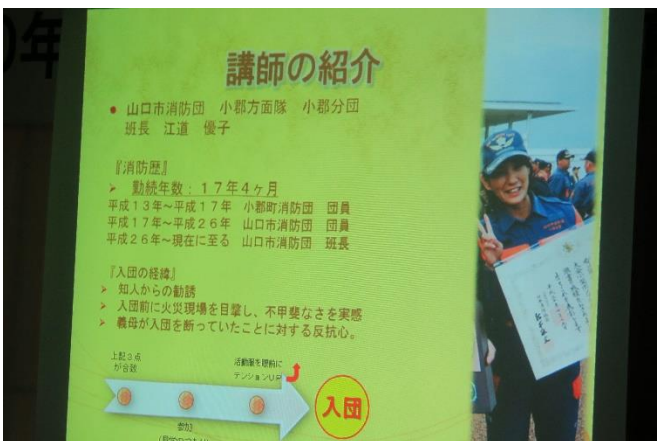
日野町消防団第3分団



東武司班長



「女性消防団員の活躍～第26回全国消防操法大会」（講演）山口市消防団石丸栄喜団長



山口市消防団小郡方面隊小郡分団 江道優子班長



山口市消防団小郡方面隊小郡分団 進藤恵美子班長



素晴らしいご講演をありがとうございました。